

SAKURAJIMA-KINKOWAN
GEO PARK

桜島・錦江湾 ジオパーク

鹿児島県始良市のジオストーリー

帖佐鍋山の鋼山製鉄所について

* 吉瀬 毅¹, 福島 大輔², 東川 隆太郎³, 浜本 麦⁴,

樋之口 蓉子⁴, 折見 信則⁵, 深野 信之⁶

¹ 鹿児島市, ² 桜島ミュージアム, ³ かごしま探検の会, ⁴ くすの木自然館, ⁵ 加治木郷土館, ⁶ 始良市

はじめに

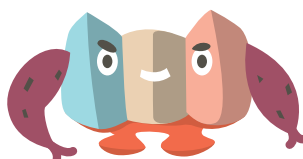
桜島・錦江湾ジオパークは、2021年に鹿児島市・始良市・垂水市（3市）全域にエリアが拡大しました。この新しいエリアで、錦江湾奥地域全体を物語るジオストーリーが出来上がりました。「新しいジオストーリー」について紹介します。

HELLO NEW FRIENDS !

新しい仲間となら
ジオはもっと楽しくなる。



Aira

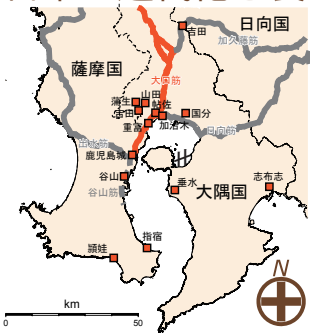


Kagoshima



Tarumizu

日本の近代化と製鉄

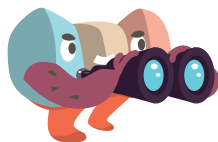


海運と陸運の要である、始良市の帖佐鍋倉にある鋼山製鉄所には、砂鉄や鉄鉱石などの製鉄原料が集められてきました。この鉄が日本の「明治産業革命」につながる、薩摩藩の近代化にとって重要でした。始良市の歴史を鉄という観点から、ジオストーリーとして眺めてみましょう。

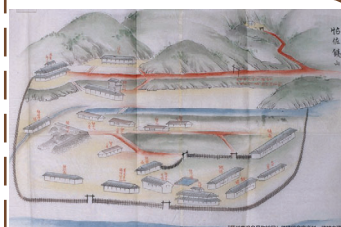


磯の集成館と帖佐鍋倉の鋼山

帖佐鍋倉では、集まってきた製鉄原料により、鋼や銑鉄が作られていました。その鉄が鹿児島城下（磯）にある、集成館（世界遺産の構成資産）に送られました。当時の様子をのぞいてみましょう。



磯集成館「薩州見取絵図」



帖佐鍋倉の鋼山「薩州見取絵図」



鋼山製鉄所の現在の様子

まとめ

1. 新エリアでは、錦江湾奥地域に共通するストーリー（歴史など）が見所として加わって、桜島・錦江湾ジオパークはパワーアップしました。
2. このポスターでは、直接的なジオの恵みである「鉄」の流通から、日本の近代化につながる薩摩藩の製鉄業についてストーリーにしました。
3. 鋼山製鉄所跡には、現在は遺構が残されていませんが、現在の地形から当時の面影をしのぶことができます。
4. ジオストーリーとして地域全体を俯瞰して見ることで、ジオパークエリア全体の魅力を再発見することにつながります。

